

帯広労基署が無災害表彰伝達式

宮坂建設工業の6事業場に

連携を密に安全施工推進



菊池署長(中央)から表彰状が手渡された

清泉改良「274号清水町石山北改良」274号清水町日勝峠改良」の計6事業場

この日、同社から棟方聡土木部長ら10人が出席。集出荷貯蔵施設新設の須藤司現場代理人、大正橋下流地先回復の棟方部長のほか、

【帯広発】帯広労基署は9月28日、帯広地方合同庁舎で建設事業無災害表彰伝達式を挙行政。宮坂建設工業(帯広、宮坂寿文社長)が施工した建築工事1事業場、土木工事5事業場の技術者に対し、菊池俊文署長から表彰状が手渡された。

今回、受賞対象となったのは宮坂・市川JV施工の「産地パワーアップ事業十勝池田農協農産物集出荷貯蔵施設新設」のほか、宮坂建設工業単独施工の「札内川左岸大正橋下流地先回復」274号清水町石山南改良」「274号清水町

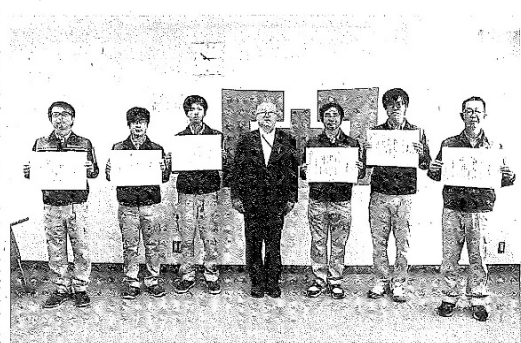
石山南改良の宮本京良、清泉改良の阿部松幸、石山北改良の佐藤英樹、日勝峠改良の西川周平の4氏に対し、菊池所長が一人ひとりに表彰状を手渡し、優れた安全管理の取組をたたえた。

続いて菊池署長があいさつ。「無災害は各現場とも互いが協力して達成できたもの。これからも安全に関する取組を継続してゼロ災害達成を」と今後の取組に期待を寄せた。

受賞工事のうち土木工事5件すべてが災害復旧工事で、このうち4件が日勝峠関連となる。棟方部長は濃霧などのリスク低減のためのICT施工、トランシーパー連携によるリアルタイムの情報共有などの効果のほか、協議会設置による元下含めた連携の密が無災害につながったことを強調した。

無災害施工たたえる

帯広労基署が6現場を表彰



【帯広発】帯広労基署は9月28日、建設事業無災害表彰伝達式を開いた。宮坂建設工業(本社・帯広)の5現場と同社・市川組共同体の1現場が対象となる。伝達式は当初、

象となり、菊池俊文署長から賞状を受けた。労働者災害補償保険の保険料が160万円以上で無災害だった現場が対象となる。伝達式は当初、

表彰状を手に記念撮影した

9月6日の実施を予定していたが北海道胆振東部地震の影響で延期していた。

表彰を受けたのは全国農業協同組合連合会が発注し宮坂・市川共同体が施工した平成28年度産地パワーアップ事業十勝池田町農協農産物集出荷貯蔵施設新設と帯広開建発注の札内川左岸大正橋下流地先回復、一般国道274号清水町石山南改良、同清泉改良、同石山北改良、同日勝峠改良の6現場。安全対策として一般

道274号の現場は総じて険しく落石の危険があり、濃霧など気象条件も厳しかったがICTを搭載した重機を使用して危険箇所の無人施工を実現した。また延べ2000—4000人が出入りする現場で下請け業者を交えた連絡協議会を立ち上げ、情報共有や意思疎通を図った。

伝達式には土木部の棟方聡部長ら10人が出席。菊池署長は「強いリーダーシップを発揮し現場で作業する全員の協力で実現できたと思う。これからも現場の安全に努めてほしい」と激励した。